

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】令和 2 年 9 月 10 日 (2020.9.10)

【公開番号】特開 2019-33430 (P2019-33430A)

【公開日】平成 31 年 2 月 28 日 (2019.2.28)

【年通号数】公開・登録公報 2019-008

【出願番号】特願 2017-154388 (P2017-154388)

【国際特許分類】

H 0 4 N 7/18 (2006.01)

G 0 6 T 13/80 (2011.01)

H 0 4 N 5/93 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 7/18 U

H 0 4 N 7/18 G

G 0 6 T 13/80 C

H 0 4 N 5/93

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 7 月 29 日 (2020.7.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

本発明の請求項 1 に係る動画再生装置は、動画再生装置において、動画に含まれる複数の被写体を検出して追尾する追尾手段と、前記追尾手段により検出された前記複数の被写体の位置情報を取得する取得手段と、前記位置情報に基づき、前記複数の被写体のそれぞれの間の距離を算出する算出手段と、前記動画における、前記算出された距離が閾値より小さい期間に基づき、前記複数の被写体のそれぞれが所属するグループを決定する決定手段と、前記動画の拡大率を変更する変更手段と、前記変更手段により前記拡大率を変更された際、前記決定されたグループの数に応じた複数の分割画面に、前記動画の対象フレームのうち前記グループごとに所属する被写体が含まれる範囲それぞれをレイアウトして前記動画を再生する再生手段とを備えることを特徴とする。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 9】

ステップ S 8 0 6 では、決定されたすべてのグループのレイアウトに関するレイアウト情報を生成し、本処理を終了する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

動画再生装置において、

動画に含まれる複数の被写体を検出して追尾する追尾手段と、

前記追尾手段により検出された前記複数の被写体の位置情報を取得する取得手段と、

前記位置情報に基づき、前記複数の被写体のそれぞれの間の距離を算出する算出手段と

、

前記動画における、前記算出された距離が閾値より小さい期間に基づき、前記複数の被写体のそれぞれが所属するグループを決定する決定手段と、

前記動画の拡大率を変更する変更手段と、

前記変更手段により前記拡大率が変更された際、前記決定されたグループの数に応じた複数の分割画面に、前記動画の対象フレームのうち前記グループごとに所属する被写体が含まれる範囲それぞれをレイアウトして前記動画を再生する再生手段とを備えることを特徴とする動画再生装置。

【請求項 2】

前記対象フレームにおける、前記グループの範囲それぞれの中心位置及び前記複数の分割画面の配置位置に応じて、前記複数の分割画面に前記グループの範囲がレイアウトされることを特徴とする請求項 1 記載の動画再生装置。

【請求項 3】

前記対象フレームのうち前記グループの範囲それぞれを、前記中心位置を中心に前記変更された拡大率に拡大し、前記中心位置が前記複数の分割画面の夫々の中心に位置するように配置することを特徴とする請求項 2 記載の動画再生装置。

【請求項 4】

前記追尾手段は、顔の類似度情報に基づき前記動画の異なるフレーム間で同一被写体か否かを判断する判断手段を更に備え、

前記取得手段は、前記複数の被写体の位置情報として、前記複数の被写体に対する顔検出枠の中心となる座標を取得することを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の動画再生装置。

【請求項 5】

前記追尾手段は、テンプレートマッチングにおける類似度情報に基づき前記動画の異なるフレーム間で同一被写体か否かを判断する判断手段を更に備え、

前記取得手段は、前記複数の被写体の位置情報として、前記複数の被写体に対するテンプレート枠の中心となる座標を取得することを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の動画再生装置。

【請求項 6】

動画再生装置の制御方法において、

動画に含まれる複数の被写体を検出して追尾する追尾ステップと、

前記検出された前記複数の被写体の位置情報を取得する取得ステップと、

前記位置情報に基づき、前記複数の被写体のそれぞれの間の距離を算出する算出ステップと、

前記動画における、前記算出された距離が閾値より小さい期間に基づき、前記複数の被写体のそれぞれが所属するグループを決定する決定ステップと、

前記動画の拡大率を変更する変更ステップと、

前記拡大率が変更された際、前記決定されたグループの数に応じた複数の分割画面に、前記動画の対象フレームのうち前記グループごとに所属する被写体が含まれる範囲それぞれをレイアウトして再生する再生ステップとを有することを特徴とする制御方法。

【請求項 7】

コンピュータを請求項 1 乃至 5 のいずれか一項に記載の動画再生装置の各手段として機能させるプログラム。